

減容処理後の包装プラスチック●と右はペットボトル

新シリーズ  
わたしたち  
リサイクル党



### 容器包装プラスチックの回収

318ト→425ト

## 量増えても分別不徹底

市では、ごみの減量化・再資源化のため、去年10月から「容器包装プラスチックと食品トレイ」と「使用済み食用油」の分別回収を開始しました。これらは、プラスチック製品、工業用原材料、ガス燃料などにリサイクルされています。回収量は10月～3月は約318ト、4月～9月は約425トと増えていますが、まだ「燃えるごみ」に混入されるなど、分別が徹底されていない実情があります。そこで今回は、もう一度出し方を確認してみましょう。

## 「燃えるごみ」に混入は×

指定日・汚れを取って再資源へ

れ、中身を消費・使用すること不要になるプラスチックのこのとです。

《例》食品トレイ、食品包装ラップ、レジ袋、プラスチック製ボトルキャップなど

《出し方》汚れを取ってかごみの目に出してください。

コンビニの弁当箱、汚れの取れないチューブなどが入っていると、資源化できないことがありまますので、絶対に混ぜないようお願いします。

《例》プラスチック製品は、燃えるごみの目に出してください。

《例》バケツ、洗面器、CD、カセットテープ(ケースも)、

### 容器包装プラスチックでないものの例

「燃えるごみの日」に出してください

ザリなどの調理器具



ボールペン、定規などの文具類



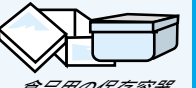
ほ乳びんなどの食器類



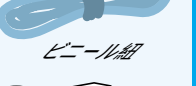
CD・カセット・テープ(ケース含む)



フロッド・ディスク



食品用の保存容器



ビニール紐



プラスチックのちまき



### ●未納者増加の傾向

超高齢社会を迎え、国民年金はますます大切になっていきます。老後に年金を受けるためには国民年金に加入し、きちんと保険料を納めることが必要です。近ごろ、「年金不安」「国民年金の空洞化」などと、国民年金への未加入や保険料未納の問題がマスコミで取り上げられることがありますが、実際には、それらは加入対象者の5%程度にすぎません。国民年金制度が「つぶれる」とはありません。

最近では、未加入者は減つていますが、保険料を納めない人(未納者)は増加する傾向にあります。原因の一つとして、厳しい経済情勢が挙げられます。しかし調査によれば、納めている人と未納者の収入に大きな差はない

# 国民年金に加入しましょう

## 長い老後生活支える 確実な唯一の仕組み

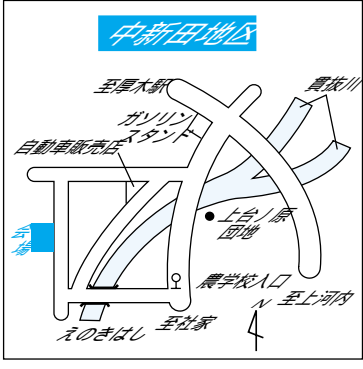
### ●保険料の免除制度

なお、経済的な理由などにより保険料を納めることができない人のために、保険料の免除制度があります。申請手続きが必要ですので、詳しくはお問い合わせください。

●厚木社会保険事務所(☎231-7171)、保険年金課(内437)。

## 中新田地区でふれあい農業 ジャガイモの掘り取り

12月1日(日)ご参加を



中新田地区で「ふれあい農業」としてジャガイモの掘り取りを開催します。当日は、多少汚れてもよい服装で、長靴、軍手などをお持ちください。

▽日時 12月1日(日) 午前9時～品物がなくなり次第終了

▽場所 中新田3054、3055番地の畑(左の地図)

▽交通 海老名駅から神奈中バス長後駅西口行で、「農学校入口」バス停下車、徒歩約10分

▽販売方法 入園・掘り取りは無料。掘り取ったジャガイモを廉価で販売します。

● 中新田営農組合・吉川秀男(☎231-0240)、農政課(内522)。

### あぜみち



## 働く喜びは健康体が基本

11月23日は「勤労感謝の日」です。勤労を尊ぶなどの趣旨ですが、昨今の長引く不況でその精神が変化しているのではないかと思います。それは、働きたいけれども働く場所が少なくなっているのが現状だからです。

生きがいというのは、人それぞれ、価値観によって異なりますが、大半は仕事の中で求めているものではないかと思えます。特に、人間の本来持っている「働く喜び」は得られませんが、

い仕事をしたいた気持ち強い、以前聞いたことがありますが、その機会が少なくなってきた時代を寂しく思います。

今後、世の中の景気がどのようになりか分かりませんが、

大谷在住、小澤 軍司(☎231-5318)、農政課(内522)。

### ●「誘拐防止」に4つの約束

○：10月16日 海老名警察署が海老名みなみ幼稚園(米山トシ子園長)で、全園児約320人を対象に誘拐防止の方法を分かりやすく伝える「防犯予防教室」写真上を実施しました。

県警防犯キャラバン隊のマスクトや犯人役の警官を相手に、園児たちが舞台上上がって万一の時の対応を体験したり、「出かけるときは行き先と帰宅時間を伝える」「1人で遊ばない」「知らない人にはついていかない」「怖いときは大声で助けを呼ぶ」の4つの約束を復唱したりしました。

すりあがった玄米を確かめる



### ●体験米もみすり仕上げ

○：11月3日、市稲作体験農園(上郷)で収穫された米約700kgのもみすり(もみながらを取り除き玄米にする作業)が中野の清水達也さん宅で行われました。当日は、同農園で田植え・草取り・稲刈りに参加した20組・80人が作業を見学。参加者の1人は「田植えから体験して、お米が食べられるまでには、手間も時間もかかることがよく分かりました。自分で作ったお米は味も格別だと思えます。早速精米して、今夜家族みんなで食べます」と、とても楽しみな様子で話してくれました。

